

～下記の研究を行います～

『破裂脳動脈瘤に対するステントを用いた脳血管内手術の抗血小板薬投与タイミングと虚血性合併症に関する多施設後向き観察研究』

【研究の主宰機関】 国立病院機構大阪医療センター

【研究代表者】 浅井克則

【研究の目的】 破裂脳動脈瘤に対するステントを用いた脳血管内手術における抗血小板薬投与タイミングと虚血性合併症との関係を明らかにすること。

【研究の期間】 研究許可日～2029年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2016年1月1日から2026年3月31日までに当院で破裂脳動脈瘤に対するステント併用コイル塞栓術を受けた方

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。

年齢、性別、既往歴等の患者さんの背景、抗血小板薬の投与方法、動脈瘤の治療情報、治療後の虚血性合併症および出血性合併症、転帰 等

【情報等収集開始日】 2026年5月25日

●外部への情報等の提供

本研究の患者さんの情報は大阪医療センターに集約します。大阪医療センターの患者さんの情報は外部へは提供しません。

大阪医療センターを除く共同研究機関の患者さんの情報は、患者さんを特定する情報（氏名等）は記載せず登録番号に置きかえ、電子的配信等で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さんと登録番号を結びつける表は、各研究機関の研究責任者が保管・管理し外部へは提供しません。

【情報等の管理責任者の氏名又は名称】

国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

共同研究機関の管理責任者（共同研究機関が決定次第、氏名又は名称を記載予定）

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立病院機構大阪医療センター 浅井克則

その他の共同研究機関は現在検討中

【研究の資金源】

独立行政法人国立病院機構臨床研究事業研究費（PI 育成研究）の資金を用います。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの機関の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

研究代表者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

脳神経外科 副科長 浅井克則

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

脳神経外科 副科長 浅井克則